



地域から学ぶ歴史と平和

もうひとつの キャンパスマップをたどって



「多面的なものごとを見て、痛みを感じられるようになるために学問がある」と小田教授



フィールドワーク出発前に行われた学習会。
「北海道の被害と加害の歴史を公にし、それを教訓とすることが大切です」

初夏の陽気に恵まれた6月16日、北大キャンパスフィールドワークを行いました。足尾銅山鉱毒事件の原因企業が寄贈した古川講堂、かつては鮭が遡上する川が流れていた中央ローン、農学部の中に大本営が置かれたことを示す「聖蹟碑」、アイヌ納骨堂、宮澤・レーン事件で犠牲になった宮澤弘幸さんが学んだ工学部など、北海道大学大学院 小田博志教授の解説を聞きながら歩きました。北大のそこそこに、かつての日本がおしすすめた植民地政策の痕跡を見ることができました。そして、アイヌが暮らしを営む大切な土地の上に大学が作られたことがよくわかりました。しかし、その事実が書かれた説明板はありませんでした。最後に訪れた遺跡保存庭園では、鬱蒼と茂る木々の間にアイヌの人々の暮らしや動物たちが見えてくるようでした。

〈文化委員会 執筆 紀美恵〉

INDEX

環境にやさしく循環させる消費を 3

いらない! 遺伝子操作食品
命を操作するということ 6~7

2023年度 通常総代会報告 4~5

生活クラブ Wind

組織 (6月度)	
組合員数	12,516 名
加入 79 名 脱退 38 名	
共同購入 (7月度)	
利用高	2億3,841万7,705円
1世帯当たり	19,049円
グリーンシステム (6月度)	
Rびん	回収 21,235本 回収率 97.0%
紙パック	売却金 7,650円 回収率 58.9%
ピッキング袋	回収率 20.7%
福祉基金 (6月度)	
賛同者数	3,022 名 賛同率 23.0%
エコロ (6月度)	
加入者数	4,062 名
加入 5 名 脱退 6 名	
生活クラブ共済 ハグくみ (5月度)	
加入件数	1,529 件
CO・OP 共済 (5月度)	
保有件数	たすけあい 4,042 件 あいぶらす 1,884 件
電気の共同購入 (4月)	
〈供給契約者数〉	771 名
〈電源構成比 速報値〉	4月は、約9割の電力を再生可能エネルギー発電所からお届けしています。

組織委員会

今年度は、生活クラブが福祉に取り組んで30年、福祉基金設立から20年を迎えます。そこで、高齢社会のピークが来る2040年を見据え、今後、地域における「福祉・たすけあい」がどうだったらいかを全組合員で考える1年にします。



7月に介護施設のドキュメンタリー映画上映会、9月に委員研修、10月に福祉バスツアーを行います。10・11月には組合員討議を行います。経験や思っていることを組合員同士が語り合い、「誰もが生き生きと暮らし続けるため」をテーマにしよう。

消費委員会

8月9日、札幌エルプラザで、4年ぶりに生産者と会える「はじめましてもお久しぶりも」知ることから始めよう会」を行います。

生産者交流会などを行うことができず、生産者に会えなかったコロナ禍。私たち組合員の「会って話したい」という思いは強くなっています。同様に、生産者も私たちと「会って話すのがやっぱり良いんだよ」と言っています。当日は久しぶりにみんなで生産者を囲み、話を聞くことができます。誘い合わせて、同窓会気分が集まりましょう。消費材の良さやありがたさを実感できる会になることは間違いないでしょう。

サステイナブル委員会

生活クラブでんきは年度で余剰が出た場合、その一部を利用して組合員の電気料金に充当して還元しています。22年度の還元率は1%で、7月の集金時に相殺されます。

生活クラブでんきの「口」には、「未来を生きる人々へ原発のない社会を手渡したい」の思いが込められています。コードの先にある「・」は生産者・発電・環境・地球を意味し、よりよい社会をみんなで作る。そんなアクションの真ん中にくる「口」です。自然の力を使って再生可能エネルギーを作っている生活クラブでんき。作ってくれて、使ってくれてあげよう。



石けん運動委員会

エスケー石鹸(株)の「洗濯用粒状せっけん」は水に溶けやすく使いやすいため、合成洗剤から石けんに切り替える組合員にはおすすめです。

生活クラブ全体で「脱プラスチック」の取り組みを進め、包材の形や材質の変更をしリサイクルPETを使用しています。また、国内自給率向上のため国内産のリサイクル脂肪酸を原材料に使うことで課題である輸入パーム油の削減にもつとめ、消費材としての価値がさらに高まりました。原材料の高騰等により価格が上がり利用が減っていますが、組合員のみなさんには消費材の中身を知って理解し、利用してほしいと思っております。

6月の理事会から

● 2023年度通常総代会を終了し、議案採決結果および当日議事進行・運営等に関して報告がありました。

● 「福祉・たすけあいを考える第2弾」として、運営委員対象の生活クラブ福祉の研修会を実施する提案があり、決定しました。

● 10月9日(祝・月)開催のわくわくまつりのサブテーマが「つなげよう!!食からの輪へ」に決定し、道内外から生産者が参加するとの報告がありました。

● 「各自治体及び施設等へのゲノム編集トマト苗の受け取り拒否を求める」活動提案がありました。

● 2019年度に導入した米登録自動更新の実績検証、および新規米登録者増をめざす新たなしくみについて、提案・報告がありました。

● 6月15日、生活クラブ運動グループ3者で「特定放射性廃棄物最終処分場選定に係る概要調査に反対する」決議を要請するなどの請願書を道議会に提出した、との報告がありました。

※6月号共同購入(4月度)を(6月度)に訂正します。

環境にやさしく 循環させる消費を

5月30日、Rびん回収をよびかける「Rびん 返してね!」シールを、サステイナブル委員と組員7人とで約 5,000 本の醤油びんのキャップに貼りました。これは、すべての 500ml びんのリユースが道内で完結できるシステムが整い、回収の意識を高めていくためにおこなったもので、今後も実施していきます。

めざせ!
回収率 100%!

Rびん返してね!



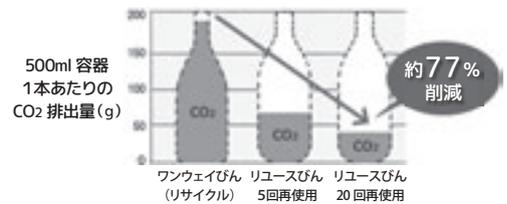
家庭から出るゴミの約 60%は容器・包装です。使い捨てのプラスチック容器はやめて、容器を循環させて使うグリーンシステムに参加しましょう! ※ Garbage Reduction for Ecology and Earth's Necessity (地球生態系のためのごみ減量) の頭文字 **GREEN** から名づけられました



シール貼りの様子。醤油が入っている超軽量びんは大切に扱ってクルクル循環して 50 回も繰り返し使えます



グリーンシステムは私たちが今すぐにできる
CO₂ 削減・脱炭素の暮らし方!



※ LCA 手法による容器間比較報告書より

廃棄されたものを粉砕して資源に戻してから製品にするリサイクルに比べ、「リユースびん」は洗ってそのまま使うことができるので、環境にやさしいのがメリット。繰り返し使うことで、エネルギー消費量や CO₂ 排出量も減らせます。

オール
**ALL 北海道 びん循環システムが
できました!**

生産から廃棄までをトータルに考え、生活クラブ北海道がびんの回収を始めたのは 1993 年。グリーンシステム構想としてこの新しい取り組みを始めるにあたり、組員への積極的な働きかけを行い、その当時から「中身は私のもの・びんはみんなのもの」を合言葉に大勢の力を結集してきました。

そして 2022 年、新たな醤油の生産者として福山醸造(株)との提携が始まったことにより大きく展開した Rびんの回収。500ml Rびんの道内での循環が可能になったという、画期的なものです。使い捨てるのではなく、資源を循環させて使うことが大切です。何をどのように消費するかという選択はそのまま、「どんな未来にしたいか」「次の世代へ何を手渡すか」へとつながっていきます。

※『生活と自治』7月号に、この取り組みが紹介されています。

組員
使って回収に出す

各センター
組員から回収

福山醸造(株)
醤油などを充填

**(有)ひがし
リサイクルサービス**
各センターから
回収して集める



日本清酒(株)
びんを洗う



食酢・みりん風醸造調味料などの
500ml Rびんも
道内で循環しています

2023年度通常総代会は、総代定数130人のうち実出席が66人、書面議決書出席49人、委任状8人の出席総代数123人を以って成立し、各議案に対して審議を行いました。質問・意見が活発にあり終了予定時間を延長して執り行い、全ての議案が多数をもって承認されました。当日の主な質問・意見と2023年度活動方針の中からピックアップしてお伝えします。〈6/6 京王プラザホテル札幌〉

理事長挨拶

生活クラブ北海道 理事長 山崎 栄子



今年は久しぶりに多くの総代が参加して話し合う場が持てることを、とても嬉しく思います。昨年は、生活クラブ北海道創立40周年を記念して様々な行事の開催や、10年後の生活クラブがどうあったらいいかを支部の中で話し合ったり、念願だった本部建物を自前で持てたりと、明るく楽しいことがありました。しかし利用結集と拡大については、とても厳しい状況になりました。

コロナ禍の3年間を経た現在、ウクライナをはじめ世界中で起きている戦争により飼料が高騰するなど、生産者も苦勞している状況です。また、長年私たちが運動してきた核ゴミの問題は、寿都町と神恵内村での調査がそろそろ終了する正念場の時期です。福祉については、介護保険制度が縮小

され使いづらくなり組合員の平均年齢も約60歳というなか、どんな福祉があったらいいかを私たちが真剣に考えていかなければと思っています。

そうしたなか大事なものは、一つひとつの地道な活動の積み重ねが結果として大きな課題解決につながっていくことで、今日は嬉しい報告が二つあります。一つは、岩見沢支部にワーカーズが設立されたこと。もう一つは、北海道議会に代理人を送り出したことです。大きな課題に向け、一步一步が大切だとあらためて実感しました。

今日の総代会では、生活クラブ北海道のことをみんなで考えていきたいと思いますので、よろしくお願いします。

2022年度活動報告

◆質問

生活クラブのまちづくり拠点

組 拠点を始めてから話し合っ

ていました。今回、ワーカーズの

◇意見

脱退について

組 脱退する人にも様々な要因が

あると考えられますが、生活クラブとして以下の3点を検討して

2023年度活動方針

◆質問

紹介キャンペーンについて

組 2023年度以降も、紹介

キャンペーンは支部主体で行いますか？

理 支部主体でおこなっているの

は、自分たちで消費材を選び何を語るのかを話し合うことが、紹介する人を増やすことにつながるのではないかと考えたからです。2023年度以降も支部主体かどうかは、3年目となる今年度の振り返りをしてから考えていきます。

拡大活動

組 4月のテレビCMによる成果

を教えてください。

理 資料請求のアンケート欄に

「テレビCMを見て」の項目が無く直接聞き取りできた分だけですが、現在加入は1人です。

◇意見

ピックアップ袋について

組 ピッキング袋(P袋)の出し

2023年度活動方針からピックアップ

・ 恵庭支部の配送エリア拡大について取り組めます。千歳方面への拡大として、4月からチラシマキや展示説明車を使った拡大を行い、1コース60人をめざします。



・ 釧路支部の取り組みとして、戸配がないことへの障壁や、脱退を防ぎ共同購入を続けていくための選択肢として、釧路支部配送エリア内でのインターネット組合員を導入します。

・ 「豊平区における地域福祉づくり」では、デイサービスセンター閉所後の場所を使って新たな福祉の展開を模索しています。地域の組合員や住民とつながることを大事な一歩としてすすめるため、豊平支部と福祉担当理事会が協力して、「人と会」展示説明車の運行やイベントをおこなっています。

・ 「牛乳」は、6〜7月を強化月間として利用結集活動を行います



2023年度 通常総代会報告



議案採決結果

総代定数 130 人【実出席 66 人（議長 2 人含む）、
書面議決 49 人、委任状 8 人】

議案	賛成	保留	反対
第1号議案 2022年度事業・活動報告の承認	116	6	1
第2号議案 2022年度事業報告、決算報告および損失処理の承認 2022年度監査報告	114	9	0
第3号議案 2023年度活動方針および事業計画の決定	110	9	3
第4号議案 役員報酬の決定	113	9	0
第5号議案 定款の改正	115	7	0
第6号議案 組合員の法定脱退処理	115	7	0
第7号議案 役員選挙（補選）	立候補者が定員内のため投票を省略し、理事1人を当選人とした。		

●各議案については『2023年度通常総代会議案書ダイジェスト版』をご覧ください。
議案書本編をご希望の方は本部まで連絡ください。

2023年度 役員

役員体制強化のため、補選により畑 玄理はたげんりさんが新理事に選任されました。会場内で第1回理事会を開催し、互選にて理事長に山崎 栄子さん、副理事長に片桐 葉子さん、竹森 明子さん、専務理事に高階 洋介さんが信任されました。

【理事長】山崎 栄子 【副理事長】片桐 葉子 竹森 明子

【専務理事】高階 洋介

【理事】

石黒 真理 泉屋 めぐみ 伊藤 弘子 小田桐 芳栄

小池 香織 小林 恭江 小松 真理 高橋 香理

高橋 諒子 畑 玄理 福井 美知代

【監事】一瀬 美絵 山谷 滋美 渡辺 恵美子

立ち上げと一緒になった理由は？

理 拠点については、1番目に支部活動を活発化するためという大きな目的があり、2番目にそこをたすけあいを広げていく「たすけあいの場」(chama)と、3番目にそれをまちづくりの活かしていくという3つの視点で提案しています。

支部活動を活発化するためには、ワーカースも一緒に立ち上げとともに進めていった方が、組合員も活発に関われるのではないかと、今回取り組む中央支部と岩見沢支部では考えました。

①システムなど物理的な環境

条件について ②情報発信や組合員からの声をこのように聞くのか、意思疎通について ③ルールや慣行などの柔軟な変更。
脱退しなくてははいけなかった、あるいは加入を諦めている人も生活クラブに加入して続けたいけるよう、新しい中期計画に活かしてください。

理 今年度、中期5年計画を策定します。ので、理事会でしっかりと話し合いをしていきます。

方ルールを周知しての回収率が

20%と低いので、ぜひ長期的な目標である50%に向けて方策をいろいろと考えていくと良いと思います。

他に、デイサービスセンター、デイコだけの経費や阿寒マイク、ログリッド発電への融資、ゲノム編集トマト苗配布に反対する活動、豊平区における地域福祉づくりなどへ意見や質問がありました。

す。毎月3万本をめざして活動します。

・高レベル放射性廃棄物を北海道に持ち込ませないために、核のゴミに反対する宣言として「北海道マウンテンリカ宣言」を広げていきます。

総代会を迎えるにあたり、各支部では事前に議案書の読み合わせを行い、様々な質問・意見が出されました。その内容は理事会でも共有しています。

いらない！ 遺伝子操作食品

命を操作するといふこと

遺伝子組み換えやゲノム編集、そして急速に進化するフードテック市場、食品表示問題などにより、食の安全が脅かされています。遺伝子操作して作りだされる食品の問題点や最新情報、私たちができることを天笠啓祐さんにお話いただきました。

〈主催 本部消費委員会 5/27 札幌エルプラザ〉



あまがさ けいすけ
天笠 啓祐 さん
ジャーナリスト。日本消費者連盟顧問。遺伝子組み換え食品いらない！キャンペーン代表

深刻な健康被害

遺伝子組み換え食品は、アメリカやカナダなど遺伝子組み換え作物生産国との輸出入の関係で、日本人が一番食べれています。今、日本で流通しているのは大豆・トウモロコシ・ナタネ・綿の4作物。食用油やマヨネーズなどの油製品、トウモロコシはコーンスターチとして様々な食材や添加物に、綿は綿実油として素麺に使われています。また、輸入トウモロコシを飼料として一番多く食べられているのが家畜です。だから乳製品や卵、肉も間接的な遺伝子組み換え食品になります。

遺伝子組み換え作物がどういう性質をもたらしているのかという点、相変わ

らず除草剤耐性が多いです。皆さんもご存知の除草剤「ラウンドアップ」の主成分は、グリホサートです。アメリカでは高齢者の尿から検出されるグリホサートが、遺伝子組み換え作物の作付けが始まる1996年以前は12%だったのが、2014～16年には70%に、濃度も約2倍になったという調査結果があります。人体汚染が深刻になっています。



除草剤をかけても枯れません
遺伝子組換え作物

広がるゲノム編集

「遺伝子組み換え」は他の生物の遺伝子を入れる技術です。例えば青いカーネーションを作りた場合、カーネーションには青い色がないのでペチュニアの青色色素を作る遺伝子を入れる。外から他所ものの遺伝子を入れて品種改

良を行うのが遺伝子組み換えです。一方、「ゲノム編集」は特定の遺伝子の働きを壊す技術です。DNAを刃刃包丁のようなものでぶつ切りに壊すことで、いろいろなことができる。例えば、成長を促す遺伝子を壊すと抑える遺伝子しか働かないため小さい生物に、成長を抑える遺伝子を壊すと大きい生物になる。豚の成長を促す遺伝子を壊すとマイク豚に、抑える遺伝子を壊すとムキムキ豚ができます。



2020年12月に、筑波大学の高GABAトマトの届け出が受理されました。遺伝子組み換え食品は環境影響評価や食品の安全審査が必要なのに、ゲノム編集はそれが要らない。届け出ればOKなんです。そして、21年9月から

販売が開始されましたが価格が高い上に評判が悪く売れない。ではどうしたかという点、苗を小学校やデイケア施設などに無償配布しました。とりあえずは食べさせちゃおう、というわけです。そこで皆さんがかなり動いてくださり、全国で自治体への「ゲノム編集トマトの苗を受け取らないで」要請運動が広がったという経緯になります。

国がゲノム編集を規制しなかった最大の理由は、やはり遺伝子組み換え作物が失敗したという認識があるからです。今、日本で流通している遺伝子組み換え作物は大豆・トウモロコシ・ナタネ・綿の4作物だけ、それ以外には広がらなかった。栽培国も北・南米中心で、世界中に広がらなかった。なぜかという点、消費者が反対したからです。消費者が反対したら生産者は作れない。それほど、消費者の反対は大きかったです。もう一つの理由はアメリカでの農薬訴訟の拡大です。ラウンドアップの被害に10万件を超える訴訟が起きました。「除草剤でガンになった」という裁判で、ほぼ被害者側が勝っています。

脅かされる消費者の権利

ゲノム編集食品は、日本だけで流通しています。だから日本人だけが食べられていると言っている。栽培時の花粉の飛散やこぼれ落ち種子が生態系に悪影響

を及ぼしていることもわかってきました。また、多国籍企業が遺伝子組み換えの特許や種子の独占を狙っていて、これは食料の独占につながっていきます。また、表示制度がないから消費者が選べません。まだネット販売のみなので、それで選べるようにはなっています。

食品の表示制度が今年の4月1日から変わり、「遺伝子組み換えでない」という表示がほとんど消えてしまいました。食品業界、アメリカ政府や多国籍企業の強い圧力で、「遺伝子組み換え」という文字を食品から消したいんですね。特に、原料原産地表示の「国内製造」という表示、これは本当にひどいです。輸入した原料を使っても、国内製造という表示ができる。それから食品添加物は、無添加とか不使用の表示ができなくなるんです。また、化学とか人工とか合成という表示が禁止されるので、化学調味料や合成着色料という表示ができなくなります。遺伝子組み換え食品では、遺伝子組み換え不使用表示ができなくなる。「分別生産流通管理済み」というわけのわからない表示が今、増えています。

最後に、有機認証制度についてです。通常、有機認証制度では遺伝子組み換え食品は有機として認証されません。でも、ゲノム編集は排除の原則が確定していないため、有機として認証される可能性が出てくるんです。これはや

はり大きな問題だと思い、今、農水省に働きかけています。

私たちが問われていること

今、政府や投資ファンドがゲノム編集やフードテックに対して多くの資金を提供していて、開発が活発な状況です。新たな分野で応用され、遺伝子組み換えが姿や形を変えて広がってきています。京都大学・近畿大学が太ったマタイや成長の早いトラフグを開発して、2021年から販売しています。九州大学はゲノム編集の効率を100倍アップする技術を開発しました。

このような時に、私たちが何をしなければいけないかというと、命を操作する意味を改めて問わないといけない。遺伝子組み換えにして、ゲノム編集にして、本当に私たちが遺伝子を操作していいのだろうか。特に、ゲノム編集やRNA干渉のように遺伝子を破壊することは意図的に病気や障害を引き起こすことです。人間がやっているのだろうか。そういうことも改めて問われる時代になったと思います。

出どころの確かなものを選ぶ、学校給食に遺伝子組み換え・ゲノム編集食品を使わないよう求めるなど、私たちにできることがあります。未来の世代を守るためにも、次々に開発される遺伝子操作食品に対して国に規制と表示を求めていきましょう。〈取材／五十嵐〉

自生GMナタネ調査

小樽発 2020年から連続発見！ 遺伝子組み換えナタネ

5月26日、ここ数年、遺伝子組み換え自生ナタネが発見されている小樽港に、小樽市港湾部の方とともに本部消費委員会、小樽支部運営委員会、そして天笠さんとナタネ調査に行きました。現場は小麦の輸入港で、荷上げした小麦をトラックに積載する倉庫。建物のわずかな隙間に生えていたナタネから簡易検査でラウンドアップ耐性の陽性反応が検出されました。また、別の日に小麦の倉庫群近くで採取したナタネからも、同様の陽性反応が出ました。

小樽港はナタネの輸入港ではないことから、輸入小麦に混じた遺伝子組み換え(GM)ナタネの種子がこぼれおち自生したと考えられます。ナタネなどのアブラナ科の植物は交雑しやすい性質があり同じアブラナ科の白菜やキャベツ、カブなどと交雑する恐れがあるので、GMナタネを発見したら、早めに根もとから抜き取るなど適切な対処が重要です。あらためて今回の結果をこれまで同様、北海道や小樽市と共有し拡散防止に努めていきたいと思っています。



小樽港周辺に自生するナタネを採取し、簡易検査をおこないました

陽性の検体を確認

information

発行 生活クラブ生活協同組合 札幌市厚別区大谷地東一丁目4-15 TEL011(887)8891 FAX011(887)7266
2023年7月20日 編集 広報委員会 W・C・OプランズP.O

報告

電気も消費材。 生活クラブでんきを選ぼう！

6月23日、生活クラブでんきへのスイッチングキャンペーン企画として『原発をとめた裁判長 そして原発をとめる農家たち』の映画上映会を昼・夜2回開催し、60人以上が参加しました。親子での参加もあり、この映画を観て感じたことをカフェタイムで共有しました。3.11福島原発

事故の後、一度は農業を諦めた農家が営農型発電で復活する姿と笑顔に、感動と明るい光が見えました。〈サステナブル委員会〉



ホームページからもアクセスできるよ



Instagram・Facebook もご覧ください！

本ページに記載しているイベント等については、生活クラブニュースを見て、参加申し込みをしてください。

問合せ 生活クラブ本部 TEL 011(887)8891

<https://www.hokkaido-seikatsuclub.coop/>

足と靴の学習会

日時 8月8日(火) 10:30～11:30

場所 札幌エルプラザ (札幌市北区北8西3)

内容 (株)パラマウント・ワーカーズ・コープによる学習会です。自分の足に合う靴の選び方などを教えてもらいましょう。

ニュース

7月3週

主催 本部消費委員会

映画上映会
- 弁論発表

2023年度 平和行動企画・平和の集會

日時 8月2日(水) 10:00～12:30

場所 かでる2・7 1060研修室 (札幌市中央区北2西7)

内容 アフガニスタンで65万人の命を支えた中村 哲 医師のドキュメンタリー映画『荒野に希望の灯をともし』を上映します。次いで立命館慶祥中学校・高等学校弁論研究部が「平和」をテーマに発表します。

ニュース

7月1週

主催 文化委員会

親子企画 みんなで平和について考えよう

日時 8月9日(水) 10:00～12:00

場所 ノーモア・ヒバクシャ会館

(札幌市白石区平和通 17丁目北6-7)

内容 8月9日はナガサキに原爆が投下された日です。78年前に何が起こったのか…。お子さんと一緒に被爆者の話に耳を傾け、改めて平和の尊さを考えてみませんか。

ニュース

7月1週

主催 文化委員会



出逢い

清田支部 富士本 晴美

2年くらい前から、カメラを始めました。元々カメラが趣味だった夫が先生です。夫婦2人の生活になり、時間に余裕ができてきたのですが、旅行もコロナ禍でなかなか難しい時期でした。

そんな時、シマエナガブームの到来です。あの可愛いらしい鳥を撮ってみたいと、早速カメラを購入し、森へ出掛けていくものの、シマエナガはすぐそこにいるのに私カメラのフレームに入ってくれず、シャッターすら押すことが出来ないのです。あつという間にどこかへ飛んでいってしまいます。さあ、そこからモモンガ、エゾクロテンとカメラを片手に山や森を探しますが、未だに撮れていません。

北海道には綺麗な景色がたくさんあります。冬は豊頃町のジュエリーアイス、上士幌町の糖平湖のアイスバブル、夏は北竜町のひまわりなど、カメラを始めなければ、この美しい風景は見えていなかったらどうと思います。生活クラブもあつという間に20年近く続けていろいろな方に出逢うことができました。『食』から出逢いが生まれました。大切にしていきたい出逢いです。

組合員のエッセイを募集します。4000字程度。テーマの指定はありません。本部川瀬まで、ファックスか業務便で送って下さい。



道産 道産簡伐材を配合した紙を使用しています